Oの指標にみる福島県のいま

Ver.28 平成29年12月15日

総人口

New!

基準:各年10月1日現在 出典:H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島 県の推計人口」

◎前年比

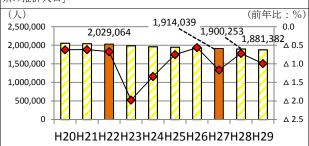
-1.0%20年連続減



◎震災前比 H29=92.7 (H22=100.0)



- ○国勢調査の結果(平成22年と平成27年)を比較 すると5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率 であった。
- ○平成29年11月1日時点の推計人口は1,880,480人と なった。



人口の移動状況(社会動態)

基準:各年1月1日から12月31日主での計

出典: 県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」

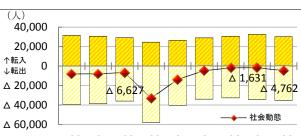
前年比 転入 -7.2% 転出 +2.3% 5年振り転出超過拡大



震災前比 転入 H28=103.2 転出 H28= 97.4 (H22=100.0)



- ○震災時に大規模な人口流出が生じ、平成24年以降は 転出超過の縮小が続いていたが、5年振りに転出超過 が拡大した。
- ○平成28年は前年より転入者が7.2%減少、転出者が2.3% 増加し、転出超過が前年より拡大した。



H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28

3 合計特殊出生率

◎前年比 +0. 01ポイント

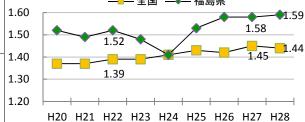


◎震災前比 H28=104. 6 (H22=100.0)



- 2年振り増 ○本県の合計特殊出生率は震災以降、平成24年までは 下降していたが、平成25年に上昇に転じ、震災前の 水準へ回復した。
- ○平成28年は前年から0.01ポイント上昇し、4年連続 で全国を上回っている。





県内総生産(名目)

◎経済成長率(前年度比)

-1.6%

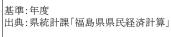
4年振り減



◎震災前比 H27=104. 9 (H22=100.0)



- 小売業、建設業が減少したことから全体として減少 し、経済成長率(名目)は4年振りにマイナスに転じた
- ○減少したものの、3年連続で7兆円を超え、震災前の平成



※計算方法の変更などにより 早期推計と確報では大きな 差が生じる可能性がある。

○平成27年度の県内総生産(名目)は、製造業や卸売・

22年度を上回る水準で推移している。



5 一人当たり県民所得

◎前年度比 -0.7%

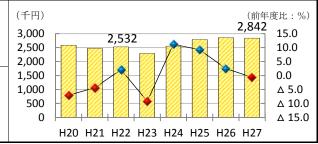
4年振り減

◎震災前比 H27=112. 2 (H22=100.0)



- ○平成27年度の一人当たり県民所得は284万2千円 となり、4年振りに前年度の水準を下回った。
- ○平成24年度以降、震災前である平成22年度の 253万2千円を4年連続で上回って推移している。

基準:年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」 ※計算方法の変更などにより 早期推計と確報では大きな 差が生じる可能性がある。



6 地域別最低賃金

◎前年度比 +3.0% 14年連続増



◎震災前比 H29=113. 9 (H22=100.0)



- ○本県の平成29年度の最低賃金改定額は前年度 から22円上昇し、748円となった。
- ○現在の表示方式となった平成14年度以降で最大 の引上げ幅となったが、全国加重平均額である 848円は下回っている。

※時給 (前年度比:%) 4.0 800 726 748 700 657 3.0 600 2.0 500 1.0 400 0.0 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29

全国新酒鑑評会結果 (順位・金賞受賞数)

◎前年度順位比 H 2 8

1位

H 2 7

1位

5年連続日本-



◎震災前比 H28=1位 (H21=1位)

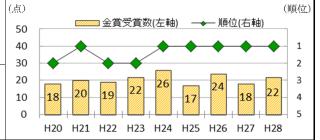


- ○平成28酒造年度の本県産日本酒の金賞受賞数 は22点であった。
- ○金賞受賞数は5年連続で日本一であり、本県の 酒づくりは高い評価を受けている。

基準:酒造年度(7月1日~翌年6月30日)

出典:厚生労働省「地域別最低賃金改定状況」

出典:独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒 鑑評会審査結果」



製造品出荷額等・付加価値額

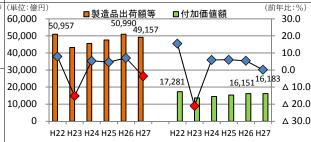
製造品出荷額等 ◎前年比 製造品出荷額等 -3.6% 付加価値額+0.2% 付加価値額 4年振り減 4年連続増

製造品出荷額 ◎震災前比 製造品出荷額等 = 96.5 付加価値額=93.6 付加価値額 (H22=100.0)

- ○製造品出荷額等は4年振りに下降したが、 付加価値額は4年連続で上昇が続いている。
- ○いずれも震災により平成23年は大きく落ち 込んだが、震災前の9割を超える水準まで 回復した。

基準:年

出典:総務省·経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査産業別集計(製造業)に関する集計 (概要版) 結果の概要(工業統計調査結果との比較) ※従業者4人以上の事業所が対象



1等米比率(水稲うるち玄米)

New!

出典: 農林水産省「米の農産物検査結果

基準:年

平成20年産米から27年産米までは翌年10月末日時点の比率で確定値。平成28年 産米及び平成29年産米は平成29年10月末時点の比率で速報値。

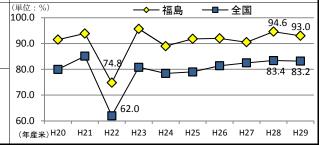
◎前年同期比 一1.6ポイント 2年振り減



◎震災前比 H29=124. 3 (H22=100.0)



- ○本県の平成29年産水稲うるち玄米の1等米比率 (速報値) は2年振りに減少したが、5年連続で 90.0%を上回って推移している。
- ○本県産米の1等米比率は全国を上回っており、 平成29年産米は全国を9.8ポイント上回った。



出身高校の所在地 10 県別入学者数(大学・短期大学)

New!

基準:各年度5月1日現在 出典: 文部科学省「学校基本調査」※平成29年度は速報値 ※大学の所在地は入学した学部の所在地により、短期大学の所在地は入学した学科

◎前年度比 県内高校 +7.4% 県外高校 -2.4% 県外高校 2年連続増 2年連続減

県内高校 ◎震災前比 県内高校 = 87.1 県外高校 = 92.8 県外高校 (H22=100.0)

- ○県内高校から本県の大学・短期大学へ入学した人の数は 平成23年度から5年連続で減少が続いていたが平成28年度 以降2年連続で増加している。
- ○県外高校からの入学者は2年連続で減少したが、震災前 の9割を上回っている。

